

## T790M 変異と治療前の患者背景・肺癌組織検体の関係を検討する研究

### 1. 研究の対象

EGFR 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌において初回治療で EGFR チロシンキナーゼ阻害剤の投与を受けた肺癌の方

### 2. 研究目的・方法

EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌における EGFR チロシンキナーゼ阻害薬 (EGFR-TKI、アファチニブ、ゲフィチニブおよびエルロチニブ) 耐性機序である T790M 変異と治療前の患者背景や肺癌組織検体の関係を検討し、T790M 変異の出やすい Population を解析し、EGFR-TKIs の適切な使用順序を検討することが目的です。

参加施設に、該当する症例毎に情報を入力するための調査ファイルを送付し、事務局が、患者背景など後ろ向きに収集したデータを解析します。

研究期間は 2022 年 7 月 31 日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景、癌の種類、EGFR 遺伝子変異の type と測定方法、過去の治療歴、治療期間・PD の場所、PD 時の T790M 遺伝子の結果、等

### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

研究実施責任者：

田宮基裕

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 医長

〒541-8567 大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69

TEL 06-6945-1181

研究協力施設：

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 田宮基裕

独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター 内科 田宮朗裕

大阪はびきの医療センター 肺腫瘍内科 鈴木秀和

神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科 佐藤悠城

神戸市立医療センター西市民病院 呼吸器内科 森田充紀  
独立行政法人国立病院機構刀根山病院 呼吸器腫瘍内科 金津正樹  
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 呼吸器内科 横山俊秀  
大阪急性期・総合医療センター 呼吸器内科 内田純二  
千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科 岩澤俊一郎  
京都府立医科大学 生物統計学 手良向 聡

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の  
方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出くだ  
さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 田宮 基裕  
住所：〒541-8567 大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69  
電話：06-6945-1181

研究責任者：

田宮基裕  
大阪国際がんセンター 呼吸器内科 副部長  
〒541-8567 大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69  
TEL 06-6945-1181

研究施設責任者：

田宮朗裕  
独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター 内科 内科医長  
〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180  
TEL 072-252-3021

-----以上